

第53回

名古屋地区少年柔道大会

期日 令和8年6月14日（日）

会場 メディアス体育館ちた

主催

名古屋地区柔道少年団

後援

名古屋柔道協会

名古屋市教育スポーツ協会

愛知県柔道整復師会

中日新聞社

オゾンソー有限公司

株式会社ユタカ建工

大会スケジュール

9:00	入館開始 受付
9:30	審判会議
9:45	選手集合 準備体操
9:55	選手整列
10:00	開会式
10:20	試合開始

[団体の部]

昼食

[個人の部]

閉会式

式次第

(開会式)	(閉会式)
1 開式の辞	1 開式の辞
2 優勝杯返還	2 成績発表・表彰
3 大会会長挨拶	3 大会会長挨拶
4 来賓祝辞	4 閉式の辞
5 試合上の注意	
6 選手宣誓	
7 閉式の辞	

大会役員

大会名誉顧問 河原 月夫

大会顧問 金子 恵一 松本 宣子
石田 輝也 山下 成巳

大会会長 相羽 秀昭
大会副会長 月野 義明

大会総務 木村 明夫 下山 太 杉浦 宏文 安田 貴志
福井 万寿夫 北川 嘉憲 松山 武敏 藪本 精一
永井 清司 河原 龍秀 高木 克哉 土川 静華
宮田 みき 森 恒樹 石原 征弘 伊東 知樹
山口 光男 森 正仁 木之本 達明 齊野 謙二
竹内 雅宏 武井 宣明

審判長 野本 大道

審判員 別ページ参照
(兼運営役員)

マットドクター 高見 秀樹 八木 清

救護係 平井 範幸 木村 勝則

本部係 ◎木之本 達明 ○松山 武敏 永井 清司 土川 静華
宮田 みき 岩田 美喜 村松 かおり 竹澤 毅朗

受付係
名古屋地区 ◎窪田 智之 ○福井 万寿夫
尾張地区 ◎藪本 精一 ○竹澤 毅朗
知多地区 ◎森 正仁 ○齊野 謙二

審判受付 ◎森 恒樹 ○北川 嘉憲

駐車場誘導 北川 嘉憲 (受付兼) 伊東 知樹
(市役所駐車場へ誘導)

選手変更 ◎岩田 美喜 武井 宣明

会場係 松山 武敏 永井 清司 土川 静華 宮田 みき

審判員試合場割当

◎：試合場進行責任者 ○：進行補佐 進：進行担当 (順不同)

第1 試合場	◎	吉田剛章(米田)	6A	第5 試合場	◎	栗林一孝(長久手)	6B
	○	木村明夫(長久手)	7顧		○	桂広知(大治)	5B
		内田みゆき(武豊)	4C			柳澤弘隆(扶桑)	5C
		竹内雅宏(北名古屋)	3C			加藤久美(半田)	3B
		佐波正巳(稲沢)	3C		進	緒方瑠聖(亀崎)	2C
	進	松本有市(半田)	2C		進	田島靖久(尾張一)	2C
	進	内田和之(瀬戸)	2C			堀井貴行(豊明)	2C
第2 試合場	◎	土川一克(大石)	5A	第6 試合場	◎	竹澤毅朗(知多市)	6B
	○	森 正仁(武豊)	7顧		○	河邊俊博(孝心館)	4B
		佐々木友博(小牧)	4C			中ノ森崇(瀬陶)	4C
		中井正浩(瀬戸)	3C			北川嘉憲(春日)	3C
		大元美久(東浦)	3B		進	小池一哲(尾張一)	2C
	進	村松由之(半田)	2C		進	畠田隆渉(米田)	2C
	進	高橋正信(東郷)	2C				
第3 試合場	◎	佐野恵(東海)	7B	第7 試合場	◎	柘植久嗣(一久)	6B
	○	藤村元太(東浦)	4B		○	下山徳大(六郷)	4B
		岳川大輝(小牧)	4C			古田治久(半田)	5C
		武内睦子(武豊)	3C			徳田大輔(大石)	3C
		岡崎高章(木曾川)	3C		進	祖父江歩夢(夫馬)	2C
	進	野村薫魅(半田)	2C		進	伊東知樹(知多市)	2C
	進	横山侑典(東浦)	2C				
第4 試合場	◎	夫馬喜久治(夫馬)	7B	第8 試合場	◎	木之本達明(亀崎)	6B
	○	鈴木道臣(東海)	5B		○	福永匡洋(名東)	5B
		梅田晃(ウィル)	4C			原田朋子(大府)	3C
		岩本航也(東郷)	3C			増田正典(稲沢)	3C
		山田竜揮(中田塾)	2C		進	煤原康晴(大治)	2C
	進	原康則(扶桑)	2C		進	川原静真(県武)	2C
	進	藤井省吾(大岩)	2C				

第 53 回名古屋地区少年柔道大会実施要項

主 催 名古屋地区柔道少年団
後援予定 名古屋柔道協会 愛知県柔道整復師会 中日新聞社
オンソー有限公司 株式会社ユタカ建工

日 時 令和8年6月14日(日) 受付：午前9時 開会式：午前10時

会 場 メディアス体育館ちた 〒478-0047 知多市緑町5番地

参加資格 ① 名古屋地区柔道少年団加盟団体、若しくは主催者が認めた団体
② 出場者は、健康体で保護者の同意を得ている小学生
③ 出場者は、試合を行い得る技能を有する者と申込責任者が認めた者

試合種別と方法

団体の部

- ① チームは、道場・クラブ・教室等の単位（他所属との混成は認めない）とする
- ② 各団体1チームとする
- ③ 選手構成は、先鋒・次鋒は3・4年生とし、中堅・副将・大将は5年生以上とする
- ④ 欠員がある場合は後ろ詰めとする ※学年区分内でのみ詰める
- ⑤ 試合方法は、紅白点取り試合とし、トーナメント方式で実施する
- ⑥ 試合時間は、正味2分間とする
- ⑦ 判定基準は、「一本」「技有」「有効」「僅差（指導差2以上）」とする
- ⑧ チーム間の勝敗は、勝者数の多い方を勝ちとし、勝者数が同じ場合は内容により決する
内容も同じだった場合は代表者戦を行う
代表者戦は引き分けの中から抽選し、試合（2分間）により勝敗を決する
※抽選は本部で行う ※勝敗が決しない場合は旗判定で決する

個人の部

- ① 試合種別は、学年別、男女別とする
- ② 試合方法は、各部ともトーナメント方式とする
- ③ 試合時間は、1年生～4年生は正味2分間、5年生・6年生は正味3分間とする
- ④ 判定基準は、「一本」「技有」「有効」「僅差（指導差2以上）」とする
技の評価の差がない場合は「旗判定」により勝敗を決する
決勝戦はゴールデンスコア方式（2分間 ※5・6年生は3分間）により勝敗を決する
ゴールデンスコアでも技の評価の差がない場合は「旗判定」により勝敗を決する

試合規則 国際柔道連盟試合審判規定および国内における「[少年大会試合審判規程](#)」による

表 彰 団体・個人の部とも3位まで、賞状・賞品を授与する

申し込み

- ① 申込方法 申込責任者は、参加申込書に必要事項を記入の上
令和8年5月10日(日)必着で、メールで事務局へ提出
・申込期限は厳守して下さい
・参加申込書は名古屋地区柔道少年団ホームページにあります

【問い合わせ先】 事務局 武井 080-3289-1516

(注) 大会当日の申し込みおよび変更は原則として受け付けません
ただし、団体の部の選手変更は試合開始前まで受け付けします

- ② 審判員 申込団体より、審判員2名を選出して下さい
(運営役員を兼務していただきますのであらかじめご了承下さい)
- ③ 参加費は、1人1,200円
振込先：UFJ銀行 店番号203 普通1361909 名古屋地区柔道少年団
事前に銀行振込にて前納する(振込手数料は申込者負担)
申込のメールに振込用紙の写真または画面スクショを添付してください

ゼッケン

柔道衣に次の要領でゼッケンを縫い付けること。付けていない選手は原則として出場できない

図1 ゼッケン規定

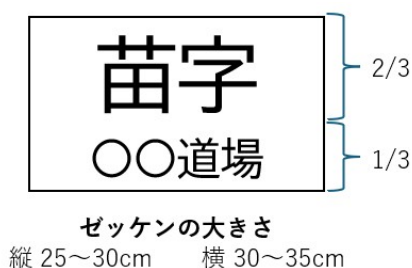
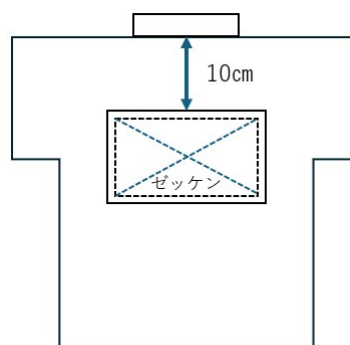


図2 縫い付け位置と方法



- ① 布地は晒歩太綾(白色)
- ② 後襟から10cm下部に点線部分を縫い付ける(対角線も縫い付ける)
- ③ 上2/3に苗字(姓)を、下1/3にチーム名を、太ゴシック(楷書)で記載
- ④ 男子は黒文字、女子は赤文字とする
- ⑤ チーム内に同じ苗字(姓)の選手がいる場合は、名前の1字を記載する

その他

- (1) 競技中における疾病ならびに傷害について応急処置は行うが、その後の責任は負わない
- (2) 必ずスポーツ安全保険等に加入しておくこと。未加入者は参加を認めない
- (3) 大会に備えて十分に体調を整えておくこと
- (4) 当日体調が悪くなった場合は無理して出場しないこと
- (5) 前日18時~翌敷きの協力を呼びかけします(当日の補助係も募集予定)

以上

審判・運営にあたっての申し合わせ・確認事項

審判について

1. 審判は「2025-2028 国際柔道連盟試合審判規程」及び、国内における「**少年大会試合審判規程**」で行う
本大会は、身体的にも精神的にも発育途上の小学生の大会であることを常に念頭において、特に危険防止について考慮する。
また、礼法を正しく行わせることはもとより、姿勢、組み方についても考慮して指導を行う
2. 試合者の服装は、成長期の小学生のため、試合者の安全確保、試合の実施に著しく不都合でない場合には、規定より若干の誤差を認める
3. 試合時間
団体戦 正味 2 分間
個人戦 1 年生～4 年生 正味 2 分間
5 年生・6 年生 **正味 3 分間**
4. 反則の判定は、規定に従って厳粛に対応する。
なお、宣告のときは選手によく理解させるため、できる限り口頭説明も併せて行う。
5. 審判委員は、待機審判員が交代して行う。
(原則次の審判団の中から審判委員が行う。)
6. 審判員は 3 審制で行う。決勝のみ審判委員を追加
7. 団体の部における個々の試合の判定基準
「一本」「技あり」「**有効 (旧ルール) ※1**」「僅差」の 4 種類とする
8. 「僅差」判定基準は双方の選手間に技による評価
(テクニカルスコア・技あり) がない、または同等の場合、
「指導」の差が 2 以上あった場合に少ない選手を「僅差」による
優勢勝ちとする。「指導」の差が 1 であれば「引き分け」とする
団体の部の勝敗は、勝者数の多い方を勝ちとし、勝ち数が同じ場合は
内容で勝敗を決する。**同内容の場合は代表戦 (2 分間) を行う**
代表戦は、「引き分け」の中から抽選 (本部) で 1 組を選び行う
ゴールデンスコア方式 (2 分間) を行い最初に技によるスコアを得た
選手が勝者となる
ただし、GS 時間内に勝敗が決しない場合は、旗判定で勝敗を決する

9. 個人の部の勝敗の判定基準

「一本」「技あり」「有効（旧ルール）※1」「僅差」「判定」の5種類とする
「僅差」判定の基準は、双方の選手間に技による評価（テクニカルスコア・技あり）がない、又は同等の場合、「指導」の差が2以上あった場合に、少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする

双方の選手間に罰則（指導差1以上）及び技の評価の差がない場合は、「旗判定」によって勝敗を決する。ただし、決勝戦はゴールデンスコア方式による延長戦（2分間）を行い、最初に技によるスコアを得た選手が勝者となる。ただし、GS時間内に勝敗が決しない場合は、旗判定によって勝敗を決する。

※1

本連盟主催大会以外における国際柔道連盟試合審判規程改正に伴う
「有効」の取り扱いについて（一部抜粋）

IJF 規程の運用上の問題点について審判委員会において検証したところ、本連盟主催大会以外では、下記の通り、設備や条件等の様々な要因により公平性が保てないと判断いたしました。

○設備・条件面

- ・2方向からのカメラ撮影とスロー再生機能（再生速度×0.1）を有するケアシステムが必須である。
- ・ケアシステム検証時間を短縮化するため、ケアシステム操作技量の向上が必要である。

・審判技能と経験差により判断の統一が困難であり、現行IJF規程に精通した審判員を講師とした審判トレーニングが必須となる。

○教育・安全面

- ・うつ伏せに近い技が「有効」となることから、引き手を持たずに片手だけで施す技が多用され、柔道本来の背中から着地させる技術の低下が危惧される。
- ・引き手を持たないことから投げの制御が困難となり、受傷リスクが高まることが危惧される。

つきましては、「有効」の基準は2025年の「有効」の基準を準用する等、主催団体と関係団体にて協議し、大会ごとで定めていただきたく、公平性および安全面にご配慮した運用へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

【QRリンク先】

有効の取り扱いについて.pdf



運営について

1. 審判員は、開会式・閉会式では正面に整列する
2. 審判員は、運営役員（進行・時計・記録）も兼ねる
3. 各試合場運営責任者は、運営役員（兼審判員）を指導して進行を統括する
〈団体の部〉
 - 試合場の割当ては、「会場案内」の通りとする
 - 決勝の試合場及び審判員は、本部が別途指定する
 - 1 試合終了ごとに、記録表を本部へ提出する〈個人の部〉
 - 試合場の割当ては、「会場案内」の通りとする
 - 試合開始前に選手に呼び出し番号を伝達する
手の甲に番号を書く。拒否も可とする
 - 決勝の試合場及び審判員は、本部が指定する場所で行う
 - 決勝の試合順序は
男子1年生～6年生の部、女子1年生～6年生女子の部の順とする
 - 試合記録をトーナメント表に記入する
 - 適宜、トーナメント表を本部へ写真提出する
 - 適宜、表彰者名簿を作成して（フリガナを必ず記入）本部へ提出する

少年大会試合審判規程

全日本柔道連盟 公式 HP より抜粋

国内における少年（中学生以下）の試合は、国際柔道連盟試合審判規程に則って行う。
ただし、安全面を考慮し、本規程を加えて行うものとする。

〔禁止事項と罰則〕

1. 指導（軽微な違反）

- ① 立ち姿勢で相手の後ろ襟、背部を握ること。
ただし、技を施すため、瞬間的（1，2秒程度）に後ろ襟、背部を握ることを認める。
（注）中学生については、後ろ襟を握ることを認めるかどうかは主催者が判断し、決定する。
- ② 両膝を最初から同時に畳に着いて背負投等を施すこと。
（注）小学生以下は、技を施すため、片膝を着くことも反則とする。
- ③ 関節技及び絞技を用いること。
- ④ 無理な巻き込み技を施すこと。
- ⑤ 相手の頸を抱えて大外刈、払腰、腰車などを施すこと。
- ⑥ 小学生以下が、裏投を施すこと。
- ⑦ 通称「逆背負投」に類する技を施すこと。
- ⑧ 両袖を持って投げ技を施すこと。
- ⑨ 相手の上衣の袖の中、又は下穿きの裾の中に指を入れて握ること。
- ⑩ 立ち姿勢で標準的ではない組み方（片襟持ち〔通称：クロスグリップ〕、帯、または帯から下の部位〔内股上部：両脚の付け根の水平ラインまで〕を握ること）で、直ちに技を施さないこと。標準的ではない組み方を繰り返した場合は、攻撃をしても反則とする。

2. 反則負け（重大な違反）

- ① 攻撃・防御において、故意に相手の関節を極めること、または頸部を絞めること。

改廃

本規程の改廃は、審判委員会において協議し、理事会の承認を得て行う。

付則

- この申し合わせは、平成22年5月1日から実施する。
- この申し合わせは、平成23年6月14日から部分変更して施行する。
- この申し合わせは、平成27年3月31日から改正し、平成27年6月1日から施行する。
- この申し合わせは、平成27年11月30日から申し合わせを特別規定として改正し、施行する。
- この特別規定は、平成30年3月1日から改正し、平成30年4月1日から施行する。
- この特別規定は、令和3年3月15日から特別規程と改正し、施行する。
- この特別規程は、2022年1月24日から改正し、2022年4月1日から施行する。
- この特別規程は、2023年12月8日から改正し、2024年4月1日から施行する。
- この特別規程は、2025年3月13日から改正し、2025年4月1日から施行する。
- この規程は、2026年3月16日から名称を「少年大会試合審判規程」に改正し、2026年4月1日から施行する。

少年大会試合審判規程

(附則)

1. 指導（軽微な違反）

① 「相手の後ろ襟、背部又は帯を握ること」関係

(ア)「後ろ襟」とは、柔道衣を正しく着用したときの頸の後ろ側（うなじあたり）の範囲をいう。

試合者の一方が後ろ襟を握った後、その襟を引き下げて側頸部にずらした場合でも「後ろ襟」とみなす。

(イ)「背部を握る」とは、肩の中心線に手首がかかるような状態を目安とする。背部を握った後、柔道衣をたぐりよせて釣り手の一部の指が後ろ襟の内側を握る状態になっても背部とみなす。

特例として「後ろ襟、又は背部を握った」状態で、通称ケンケン内股等(内股に限らずケンケンとなる大内刈や大外刈等)をかけることは、[瞬時的(1, 2秒程度)]の事項を適用せず、また、その後、連絡した技や変化した技についても、技の効果が途切れるまで継続を認める。

② 「両膝を最初から同時に畳に着いて背負投等を施すこと」関係

両膝を最初から畳に着くとは、膝の外側部、内側部も含む。同時はもちろん、ほとんど同時と見なされる場合も含む。技が崩れた結果である場合は反則としない。

③ 「関節技及び絞技を用いること」関係

(ア)寝技の攻撃・防御において、脚を交差して相手を制しているだけの状態は、三角絞とはみなさない。抑え込もうと脚を交差して相手を制止した後、絞まっている状態あるいは脊椎及び脊髄に損傷を及ぼす動作と判断した場合は、受傷を防ぐために、早めに「待て」とする。また、通称「三角固」の体勢となった時点で、危険な状態ではないと判断しても、交差している脚を直ちに解かなければ「待て」とする。交差していた脚を直ちに解けば、寝技の攻撃・防御は継続となる。

(イ)故意ではなかったが、絞技および関節が極まった場合は「待て」とし、反則としない。

④ 「無理な巻き込み技を施すこと」関係

「無理な巻き込み」とは、軸足のバネを利かすことなく、体を利用して倒れ込むようにして巻き込んだ技をいう。技が崩れた結果である場合は反則としない。

⑤ 「相手の頸を抱えて施す大外刈、払腰、腰車などを施すこと」関係

「相手の頸を抱えて施す大外刈、払腰、腰車など」とは、明らかに腕を相手の頸に巻きつけて施した場合のみをいう。

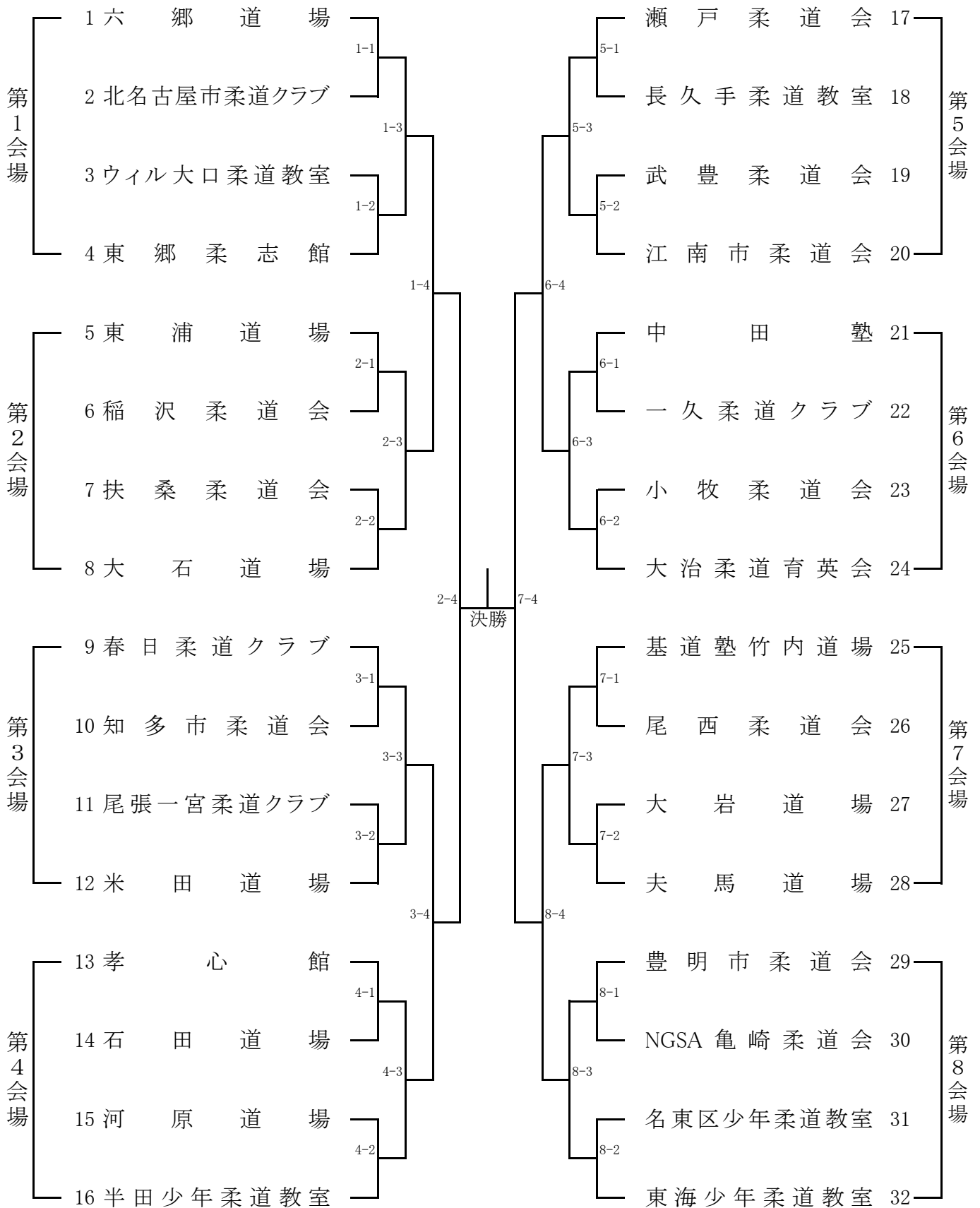
⑥ 「通称『逆背負投』に類する技を施すこと」関係

例えば一方の試合者が右組み、他方の試合者が左組みの体勢から、右組みの試合者が、正しく組んだ釣り手側の前襟を両手で握りながら、右足前回り捌き又は、左足後回り捌きで技を施し、相手を左方向に一回転させながら捻りを加えて、背中、又は頭から投げ落とす様な技をいう。但し、背負投を施して、相手が技を防御するために反対の肩越しに落ちた場合は含まない。

⑦ 「両袖を持って投げ技を施すこと」関係

相手の両袖を左右それぞれの手で持ったまま袖釣込腰、大外刈、外巻込等の技を施した場合をいう。但し、相手の片袖を持って、相手に自身の片袖を持たせたまま内股等の技を施した場合は含まない。

団体戦



団体の部 選手名簿

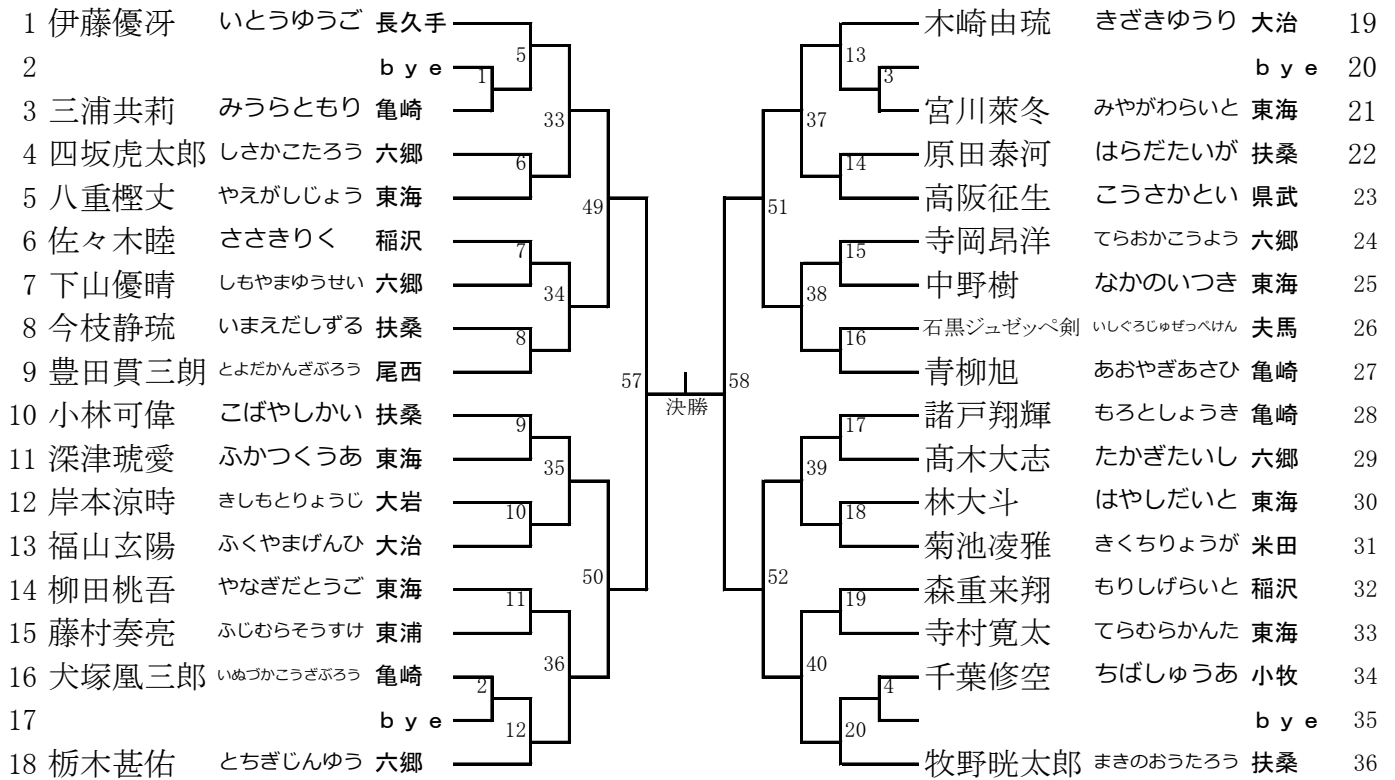
順不同

道場名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
六郷道場	下山大晴 (4年)	大原怜恩 (4年)	剛迫彩翔 (5年)	剛迫優翔 (5年)	大野陽菜 (6年)
北名古屋柔道クラブ	迫田千宏 (3年)	樋口太人 (3年)	菅ノ澤咲空 (5年)	竹内盛一郎 (6年)	小口昂大 (6年)
ウィル大口柔道教室	前田優空 (4年)	関戸十椰 (4年)	向久保朱里 (6年)	西美衣奈 (6年)	関戸晴稀 (6年)
東郷柔道館	西川桜華 (4年)	田中大翔 (4年)	近藤颯太 (5年)	中沢蓮桜 (5年)	近藤諒 (5年)
東浦道場	横山実愛 (4年)	岡地桃慈 (4年)	新田帆乃香 (5年)	藤村快威 (6年)	波田野光希 (6年)
稲沢柔道会	五十嵐清華 (4年)	角野湊音 (4年)	今井雄都 (5年)	日比玲央 (5年)	澤田晴丸 (6年)
扶桑柔道会	小林万就 (3年)	水野主真 (4年)	梅村泰生 (5年)	佐藤旭 (6年)	吉永朝陽 (6年)
大石道場	小田原一禾 (4年)	岸川夢愛 (4年)	井出奈芭 (6年)	吉田翔瑛 (6年)	小田原羽那 (6年)
春日柔道クラブ	柄僚真 (3年)	中村翔 (4年)	富田晴登 (5年)	柄璃人 (6年)	鈴木結太 (6年)
知多市柔道会	鳥居俊斗 (4年)	平松詩大 (4年)	早川麟太郎 (6年)	藤原陸人 (6年)	横山進八 (6年)
尾張一宮柔道クラブ	内田壮祐 (4年)	田島光隆 (4年)	長崎勇智 (5年)	小池羽花 (5年)	長瀬魁士 (6年)
米田道場	岩山虎鉄 (3年)	鈴木稟二郎 (4年)	堀健裕 (6年)	渥美大夢 (6年)	西条秀大 (6年)
孝心館	西井新 (4年)	馬場飛星 (4年)	清水希彦 (5年)	田中大護 (5年)	渡邊拳紳 (6年)
石田道場	中谷旭輝 (4年)	佐藤苺 (4年)	藤野将暉 (5年)	田中亮成 (6年)	鈴木惺雅 (6年)
河原道場	加藤涼華 (4年)	鈴木菖太 (4年)	佐野叶登 (5年)	小荒田圭 (5年)	菅塚暉 (5年)
半田少年柔道教室	床並結月希 (4年)	青木兼斗 (4年)	松本こはる (6年)	花田結菜 (6年)	絹川頼将 (6年)
瀬戸柔道会	黒河希愛 (4年)	片寄煌大 (4年)	成瀬由依 (6年)	筒井駿介 (6年)	池田穂士希 (6年)
長久手柔道教室	伊藤亜蓮 (3年)	伊藤豪之助 (4年)	川井雄翔 (5年)	小栗琉誠 (6年)	牧野樹 (6年)
武豊柔道会	山下莉央 (4年)	田中貴一郎 (4年)	土井杏珠 (5年)	岩田柊真 (6年)	山下莉丘 (6年)
江南市柔道会	加藤遼真 (3年)	山内洸輝 (4年)			長滝来実 (6年)
中田塾	藤戸ひまり (4年)	深谷治憲 (3年)	伊東孝紘 (6年)	城間心瑚 (6年)	林蒼羽 (5年)
一久柔道クラブ	喜納すみれ (3年)	福永珠夕 (4年)	荒井奏乃 (5年)	福永匡悟 (6年)	木村真子 (6年)
小牧柔道会	山田隼叶 (4年)	清水陸翔 (4年)	清水翔太 (6年)	武内愛斗 (6年)	水谷公亮 (6年)
大治柔道育英会	余郷太亮 (4年)	山本一愛 (4年)	鬼頭姫華乃 (6年)	本園寛人 (6年)	青柳洗鴛 (6年)
基道塾竹内道場	平松海咲 (4年)				久和兼叶 (6年)
尾西柔道会		豊田京志郎 (3年)	小川瑛司 (5年)	佐藤涼誠 (6年)	豊田惣一郎 (6年)
大岩道場	篠田勇希 (3年)	本郷結絆 (4年)	岸本圭時 (5年)	山田珠莉 (5年)	篠田美紗姫 (6年)
夫馬道場	榎木にこ (4年)	丹羽翠 (4年)			宇田川智基 (6年)
豊明市柔道会	明山晟人 (3年)	飯田慧斗 (4年)	飯田玲奈 (6年)	檜崎孝心 (6年)	田平龍海 (6年)
NGSA亀崎柔道会	篠田篤希 (3年)	戸田岳 (4年)		中村結萌 (6年)	石川一志 (6年)
名東区少年柔道教室	後藤駿 (4年)	後藤良遙 (4年)	藤野杏 (6年)	水野真宏 (6年)	伊藤明 (6年)
東海少年柔道教室	荒田瑠琥 (4年)	柳田莉帆 (4年)	八重樫花 (6年)	柳田悠斗 (6年)	中村葵 (5年)

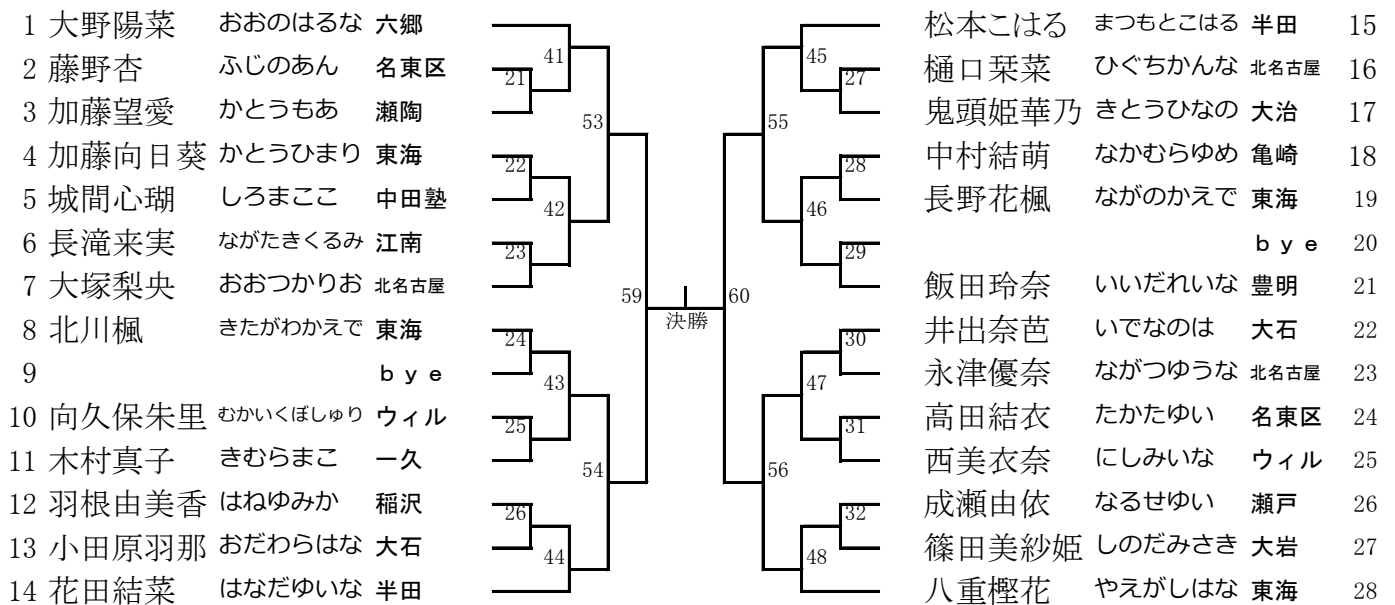
<第1会場>

第53回名古屋地区少年柔道大会
令和8年6月14日
メディアス体育館ちた

1年生男子



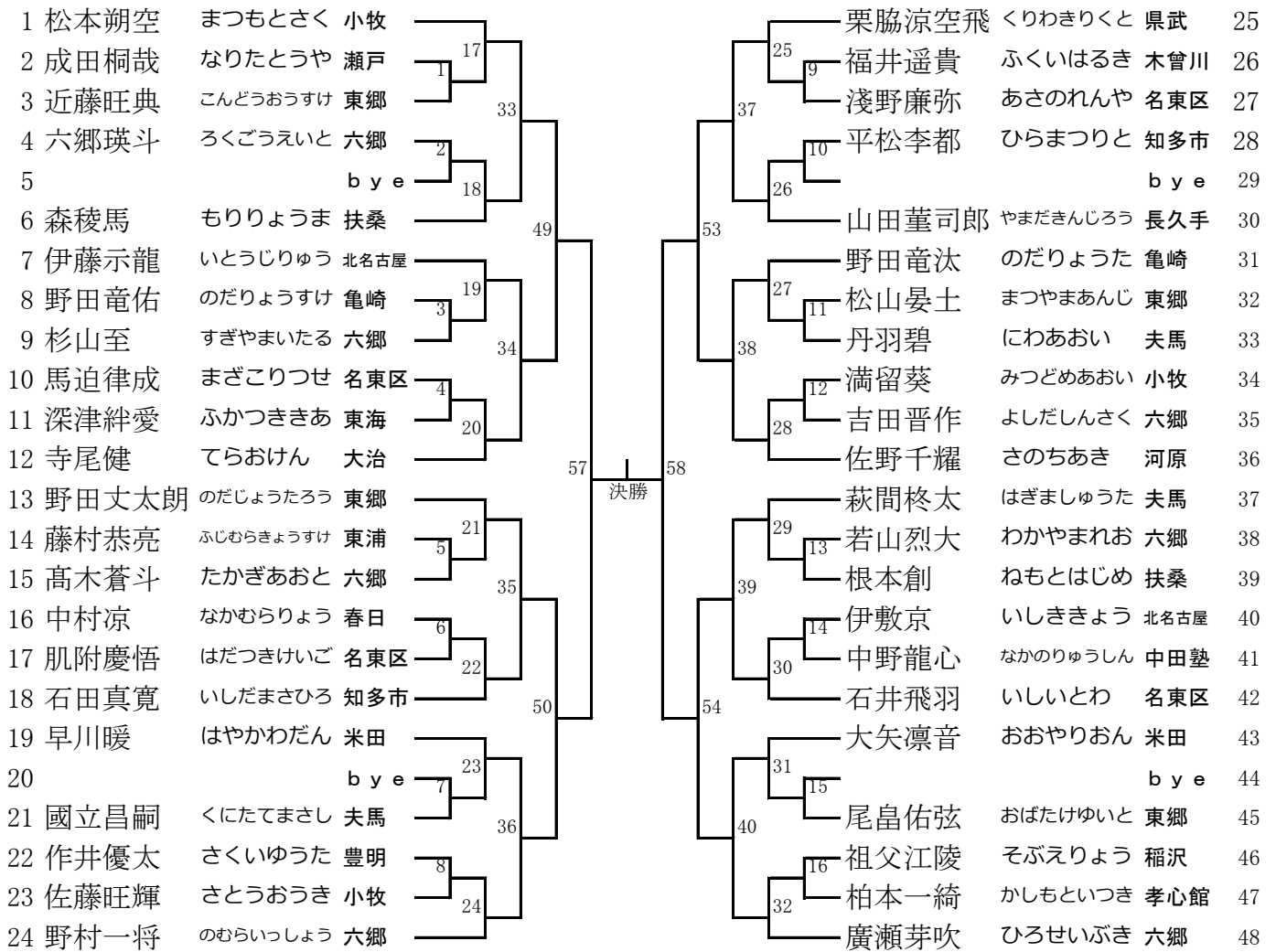
6年生女子



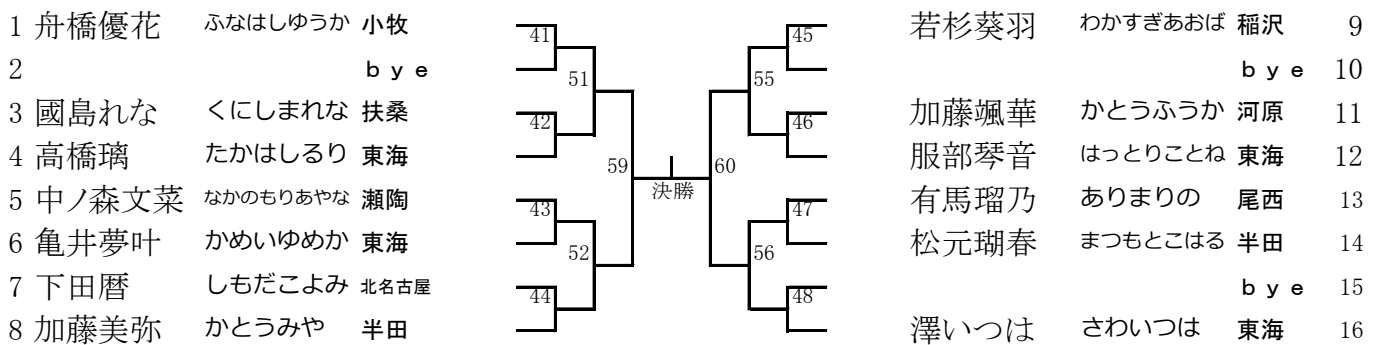
<第5会場>

第53回名古屋地区少年柔道大会
 令和8年6月14日
 メディアス体育館ちた

2年生男子



1年生女子



<第8会場>

第53回名古屋地区少年柔道大会
 令和8年6月14日
 メディアス体育館ちた

2年生女子

1 清水咲奈	しみずさきな	大石		木村つむぎ	きむらつむぎ	東海	15
2 鳥居紗来	とりいさら	知多市		愛敬葵	あいけいあおい	東郷	16
3 梶田栄奈	かじたえいな	小牧		荻原百花	おぎはらももか	米田	17
4 今野心乃花	こんのこのか	大治		藤川和葉	ふじかわかずは	知多市	18
5 寺村心	てらむらこころ	東海		南莉奈	みなみまりな	長久手	19
6 大矢凜安	おおやりあん	米田				b y e	20
7 岡田佳子	おかだかこ	夫馬		長谷川芹夏	はせがわせりか	稲沢	21
8 森重心琴	もりしげみこと	瀬陶		市岡詩音	いちおかしおん	六郷	22
9 加納糸	かのういと	中田塾		北川悠羽	きたがわゆうは	東海	23
10 荒田梨真	あらたりま	東海		熊本千乃	くまもとちの	知多市	24
11 西川千咲	にしかわちさき	東郷		日紫喜愛菜	ひしきまな	大治	25
12 鶴見あやめ	つるみあやめ	ウィル		柳田知南	やなぎだちな	東海	26
13 斎藤莉央奈	さいとうりおな	知多市		橡木あこ	とちぎあこ	夫馬	27
14 羽根美織	はねみお	稲沢		岡地紗椰	おかちさや	東浦	28

4年生女子

1 柳田莉帆	やなぎだりほ	東海		武内美琴	たけうちみこと	小牧	19
2 森重七海	もりしげななみ	稲沢				b y e	20
3 山本千歳	やまもとちとせ	亀崎		服部夏歩	はっとりかほ	東郷	21
4 松本侑芽	まつもとゆめ	扶桑		石川和	いしかわなぎ	亀崎	22
5 馬場莉愛	ばばまりあ	大治		横山実愛	よこやまみあ	東浦	23
6 岸川夢愛	きしかわゆあ	大石		伊藤光里	いとうひかり	知多市	24
7 竹内ひかり	たけうちひかり	知多市		鈴木みわ	すずきみわ	六郷	25
8 藤戸ひまり	ふじとひまり	中田塾		梁取青波	やなとりあおは	大石	26
9 加藤凜華	かとうりんか	河原		福永珠夕	ふくながみゆ	一久	27
10 小田原一禾	おだわらいちか	大石		伊藤朱里	いとうあかり	知多市	28
11 五十嵐清華	いがらしきよか	稲沢		平松海咲	ひらまつみさき	基道塾	29
12 岡崎羽那	おかざきはな	孝心館		小澤葉瑠	おざわはる	稲沢	30
13 山下莉央	やましたりお	武豊		橡木にこ	とちぎにこ	夫馬	31
14 西川桜華	にしかわおうか	東郷		佐藤苺	さとうまい	石田	32
15 前田優空	まえださら	ウィル		床並結月希	とこなみゆつき	半田	33
16 土屋日良莉	つちやひらり	知多市		長瀬滯南	ながせれいな	尾張一	34
17		b y e				b y e	35
18 寺岡衣千花	てらおかいちか	六郷		八重榎杏	やえがしあん	東海	36

<第4会場>

第53回名古屋地区少年柔道大会
 令和8年6月14日
 メディアス体育館ちた

3年生女子

1 竹内望華	たけうちもか	大石	21		松本華凜	まつもとかりん	扶桑	9
2		b y e			喜納すみれ	きなすみれ	一久	10
3 長滝咲来	ながたきさくら	江南	22		高橋雅	たかはしみやび	東海	11
4 高田茉奈	たかたまな	名東区			山田茜璃	やまだせんり	長久手	12
5 三浦結愛	みうらゆあ	扶桑	23		増田恭子	ますだきょうこ	名東区	13
6 加藤真礼	かとうまれい	瀬陶	38		三浦百莉	みうらももり	亀崎	14
7 菅ノ澤咲月	すがのさわさつき	北名古屋	24		澤田実々	さわだみみ	武豊	15
8 古庄心結	ふるしょうみゆ	武豊			内藤由依	ないとうゆい	稲沢	16

5年生女子

1 福山嘉香	ふくやまかこ	大治		藪本柚葉	やぶもとゆずは	中田塾	19		
2 浅野倫花	あさのりんか	名東区		5		b y e		20	
3 原田陽向	はらだひなた	扶桑		1	29	竹腰倅絆	たけごしゆな	尾張一	21
4 祖父江沙紀	そぶえさき	稲沢		6	33	中村幸晴	なかむらこはる	木曾川	22
5 木之下陽咲	きのしたひさき	尾張一		6	43	迫田葉月	さこだはづき	北名古屋	23
6 松本莉愛	まつもとのり	小牧		7	34	川畷沙和	かわしまさわ	扶桑	24
7 東朋花	ひがしともか	春日		30	34	松原那采	まつばらなあや	長久手	25
8 岩中優月	いわなかゆずき	石田		8	16	松坂涼華	まつざかすずか	稲沢	26
9 大岩楓花	おおいわふうか	半田		8	48	桔川皐	きっかわさつき	春日	27
10 平野向鞠	ひらのひまり	北名古屋		9	48	田辺柚羽	たなべゆずは	小牧	28
11 各務紗愛	かくむさな	大石		9	35	山田珠莉	やまだしゆり	大岩	29
12 尾臺乃々羽	おだいののは	木曾川		10	35	横山実里	よこやまみのり	知多市	30
13 黒岩環	くろいわたまき	大治		10	18	竹内もも香	たけうちももか	大府	31
14 梶本夏都	かじもとなつ	武豊		11	44	土井杏珠	どいあんじゆ	武豊	32
15 新田帆乃香	しんでんほのか	東浦		11	36	木崎叶彩	きざきかのあ	大治	33
16 中村莉心	なかむらりこ	小牧		2	36	横関葵	よこぜきあおい	扶桑	34
17		b y e			20	各務水埼	かかみみずき	春日	35
18 小池羽花	こいけはな	尾張一		12		荒井奏乃	あらいかの	一久	36

第53回 名古屋地区少年柔道大会 参加団体一覧

団体名	男							女							総計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	男計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	女計	
東海少年柔道教室	7	1	2	4	5	3	22	4	5	1	2		4	16	38
扶桑柔道会	4	2	8	4	3	4	25	1		2	1	3		7	32
小牧柔道会	1	3	7	3	6	5	25	1	1		1	3		6	31
六郷道場	5	7	2	7	3	1	25		1		2		1	4	29
知多市柔道会		2	3	4	2	4	15		4		4	1		9	24
稲沢柔道会	2	1	5	2	2	2	14	1	2	1	3	2	1	10	24
名東区少年柔道教室		4	1	5	4	4	18			2		1	2	5	23
大治柔道育英会	2	1	4	2	4	3	16		2		1	3	1	7	23
東郷柔志館		4	3	2	5	2	16		2		2			4	20
半田少年柔道教室			1	3	3	4	11	2			1	1	2	6	17
大石道場			2	3	3	1	9		1	1	3	1	2	8	17
北名古屋市柔道クラブ		2	2	2	1	2	9	1		1		2	3	7	16
NGSA亀崎柔道会	4	2	3	2		1	12			1	2		1	4	16
孝心館		1	3	4	3	2	13				1			1	14
武豊柔道会			2	2	2	2	8			2	1	2		5	13
尾張一宮柔道クラブ			4	2	1	2	9				1	3		4	13
米田道場	1	2	2	1	1	4	11		2					2	13
長久手柔道教室	1	1	2	2	1	2	9		1	1		1		3	12
春日柔道クラブ		1	2	1	2	3	9					3		3	12
ウィル大口柔道教室			2	1	3	1	7		1		1		2	4	11
東浦道場	1	1		3		2	7		1		1	1		3	10
夫馬道場	1	3	1	1		1	7		2		1			3	10
一久柔道クラブ			1		3	1	5			1	1	1	1	4	9
瀬戸柔道会		1	2	2	1	2	8						1	1	9
中田塾		1	1		1	2	5		1		1	1	1	4	9
瀬戸陶原道場				1	2	2	5	1	1	1			1	4	9
河原道場		1		1	4		6	1			1			2	8
大岩道場	1		3	1	1		6					1	1	2	8
石田道場				2	2	2	6				1	1		2	8
県武道場	1	1	3	2			7								7
尾西柔道会	1		1		1	2	5	1						1	6
豊明市柔道会		1	1	1		2	5						1	1	6
木曾川道場		1		2			3					2		2	5
江南市柔道会			1	1			2			1			1	2	4
基道塾竹内道場				1		1	2				1			1	3
大府柔道会			1			1	2					1		1	3
愛西柔道会			1				1								1
総計	32	44	76	74	69	70	365	13	27	15	33	34	26	148	513

名古屋地区少年柔道大会成績一覧表

<団体の部>

大会	会場 開催期日	優勝	2位	3位	
第40回	知多市民体育館 平成25.06.02	東海 少年柔道教室	東郷柔	稲沢柔道会	愛西柔道会
第41回	知多市民体育館 平成26.06.01	大石道場	小牧柔道会 味岡道場	東海 少年柔道教室	稲沢柔道会
第42回	知多市民体育館 平成27.06.07	小牧柔道会 味岡道場	稲沢柔道会	東海 少年柔道教室	大石道場
第43回	知多市民体育館 平成28.06.05	東海 少年柔道教室	小牧柔道会	扶桑柔道会	愛西柔道会
第44回	知多市民体育館 平成29.06.04	東海 少年柔道教室	山北道場	愛西柔道会	半田 少年柔道教室
第45回	知多市民体育館 平成30.06.03	東海 少年柔道教室	小牧柔道会	愛西柔道会	六郷道場
第46回	メディアス 令和元.06.02	東海 少年柔道教室	山北道場	青山柔道クラブ	瀬戸柔道会
第47回 (中止)	メディアス 体育館ちた 令和2.06.07	—	—	—	—
第48回 (中止)	メディアス 体育館ちた 令和3.06.06	—	—	—	—
第49回	メディアス 令和4.06.05	東海 少年柔道教室	大石道場	県武道場	六郷道場
第50回	愛知県武道館 令和5.06.18	東海 少年柔道教室	大石道場	六郷道場	山北道場
第51回	愛知県武道館 令和6.06.9	六郷道場	東海 少年柔道教室	半田 少年柔道教室	山北道場
第52回	メディアス 令和7.06.22	六郷道場	東海 少年柔道教室	瀬戸柔道会	半田 少年柔道教室

<個人の部 1>

大会	種目	優勝	2位	3位		
第49回 34団体 29チーム 359名	男子	1年生	塚原 力翔 (孝心館)	大神 樹隆 (小 牧)	今井 雄都 (尾 西)	榊原 信 (半 田)
		2年生	水谷 公亮 (小 牧)	柳田 悠斗 (東 海)	小口 昂大 (北名古屋)	高須 大志 (半 田)
		3年生	見田 輝 (六 郷)	大岩 我空 (大 岩)	竹内 栄翔 (大 石)	中村 廉 (半 田)
		4年生	岩澤 斗成 (山 北)	太田 龍誠 (大 石)	花田 義治 (半 田)	磯部 健成 (瀬戸陶原)
		5年生	吉田 空雅 (大 石)	井手 煌 (大 石)	東 睦人 (大 治)	大掛 凌 (山 北)
		6年生	彦坂 虎瑠 (県 武)	木村 悠心 (東 海)	松本 匠平 (半 田)	中塚 涼介 (六 郷)
	女子	1年生	荒井 奏乃 (一 久)	勇 らん (大 治)	高須 莉乃 (半 田)	川島 沙和 (扶 桑)
		2年生	大野 陽菜 (六 郷)	花田 結菜 (半 田)	松本 こはる (半 田)	鬼頭 姫華乃 (大 治)
		3年生	榎本 明佳里 (東 海)	神東 千代梨 (瀬戸陶原)	長谷川 琴葉乃 (瀬戸陶原)	荒井 心寧 (一 久)
		4年生	伊藤 伶 (大 石)	井上 夏歌 (小 牧)	吉岡 優海 (県 武)	中野 那希 (半 田)
		5年生	吉田 唯良 (山 北)	向井 くるみ (扶 桑)	山崎 琉奈 (大 治)	林 つぼみ (六 郷)
		6年生	竹内 理望 (大 石)	小宅 彩楽 (大 府)	山崎 奏多 (山 北)	滝本 蒼 (半 田)
第50回 42団体 34チーム 454名	男子	1年生	川満 徹大 (県 武)	水野 主真 (扶 桑)	宗方 道夢 (東 海)	下山 大晴 (六 郷)
		2年生	大西 龍 (大 治)	大原 輝真 (六 郷)	剛迫 彩翔 (六 郷)	大神 樹隆 (小 牧)
		3年生	水谷 公亮 (小 牧)	小口 昂大 (北名古屋)	高須 大志 (半 田)	柳田 悠斗 (東 海)
		4年生	見田 輝 (六 郷)	熊谷 桂治 (六 郷)	奥野 陸斗 (稲 沢)	大岩 我空 (大 岩)
		5年生	木村 剛琉 (六 郷)	岩澤 斗成 (山 北)	忠内 詠亮 (東 海)	末永 結毅 (東 海)
		6年生	吉田 空雅 (大 石)	井手 煌 (大 石)	大掛 凌 (山 北)	奥野 大地 (稲 沢)
	女子	1年生	柳田 莉帆 (東 海)	寺岡 衣千花 (六 郷)	籠橋 舞 (名東区)	福永 珠夕 (一 久)
		2年生	荒井 奏乃 (一 久)	高須 莉乃 (半 田)	藪本 柚葉 (半 田)	萱原 彩奈 (津 島)
		3年生	花田 結菜 (半 田)	大野 陽菜 (六 郷)	鬼頭 姫華乃 (大 治)	松本 こはる (半 田)
		4年生	長谷川 琴葉乃 (瀬戸陶)	岩澤 芽以 (山 北)	榎本 明佳里 (東 海)	藪本 杏瑠 (半 田)
		5年生	井上 夏歌 (小 牧)	中野 那希 (半 田)	森岡 穂香 (東 郷)	吉岡 優海 (県 武)
		6年生	吉田 唯良 (山 北)	木戸 夏鈴 (山 北)	林 つぼみ (六 郷)	山下 ありさ (南知多)
第51回 44団体 34チーム 487名	男子	1年生	福山颯大 (大治)	池増桃李 (六郷)	篠田篤希 (亀崎)	野村柳斗 (半田)
		2年生	川満徹大 (県武)	前野豪太郎 (六郷)	林大海 (六郷)	吉岡蓮之介 (県武)
		3年生	剛迫彩翔 (六郷)	剛迫優翔 (六郷)	大原輝真 (六郷)	中山瑛翔 (半田)
		4年生	水谷公亮 (小牧)	吉田翔瑛 (大石)	柳田悠斗 (東海)	小口昂大 (北名古屋)
		5年生	大岩我空 (大岩)	中村廉 (半田)	見田輝 (六郷)	熊谷桂治 (六郷)
		6年生	佐藤力 (六郷)	岩澤斗成 (山北)	首藤優斗 (露橋)	忠内詠亮 (東海)
	女子	1年生	沼辺和華 (大治)	喜納すみれ (一久)	竹内望華 (大石)	内藤由依 (稲沢)
		2年生	柳田莉帆 (東海)	寺岡衣千花 (六郷)	岸川夢愛 (大石)	石川和 (亀崎)
		3年生	高須莉乃 (半田)	萱原彩奈 (津島)	藪本柚葉 (中田塾)	二村心春 (六郷)
		4年生	大野陽菜 (六郷)	花田結菜 (半田)	松本こはる (半田)	鬼頭姫華乃 (大治)
		5年生	長谷川琴葉乃 (瀬陶)	榎本明佳里 (東海)	磯谷和津 (山北)	岩澤芽以 (山北)
		6年生	井上夏歌 (小牧)	森岡穂香 (東郷)	吉岡優海 (県武)	中野那希 (半田)
第52回 40団体 35チーム 518名	男子	1年生	松本朔空 (小牧)	廣瀬芽吹 (六郷)	栗脇涼空翔 (県武)	野村一将 (六郷)
		2年生	池増桃李 (六郷)	福山颯大 (大治)	五十嵐翼翔 (稲沢)	嶋田龍 (東海)
		3年生	川満徹大 (県武)	前野豪太郎 (六郷)	林夏 (東海)	渡邊天晴 (東海)
		4年生	剛迫彩翔 (六郷)	剛迫優翔 (六郷)	日比玲央 (稲沢)	今井雄都 (稲沢)
		5年生	水谷公亮 (小牧)	柳田悠斗 (東海)	高須大志 (半田)	澤田晴丸 (稲沢)
		6年生	平松海都 (竹内)	清田大護 (小牧)	長窪清太 (扶桑)	大岩我空 (大岩)
	女子	1年生	清水咲奈 (大石)	岡地紗椰 (東浦)	木村つむぎ (東海)	羽根美織 (稲沢)
		2年生	竹内望華 (大石)	松坂風華 (稲沢)	内藤由依 (稲沢)	松本華凜 (扶桑)
		3年生	柳田莉帆 (東海)	八重櫻杏 (東海)	武内美琴 (小牧)	寺岡衣千花 (六郷)
		4年生	福山嘉香 (大治)	荒井奏乃 (一久)	藪本柚葉 (中田塾)	高須莉乃 (半田)
		5年生	大野陽菜 (六郷)	八重櫻花 (東海)	松本こはる (半田)	花田結菜 (半田)
		6年生	長谷川琴葉乃 (瀬戸陶原)	磯谷和津 (孝心館)	藪本杏瑠 (中田塾)	芳野真希 (瀬戸陶原)

内外装工事会社 一級建築士事務所
オンソー 有限会社



住宅の内装仕上工事

内装仕上工事のことならお気軽にご相談下さい!

内装仕上工事専門店

オンソー 有限会社「良心的価格」にて承ります!!

☎ 052-614-3240



総合外構工事一式

株式会社ユタカ建工

愛知県知事許可 第77623号

493-8001

愛知県一宮市北方町北方字中屋敷郷87番地1

Tel0586-59-1136

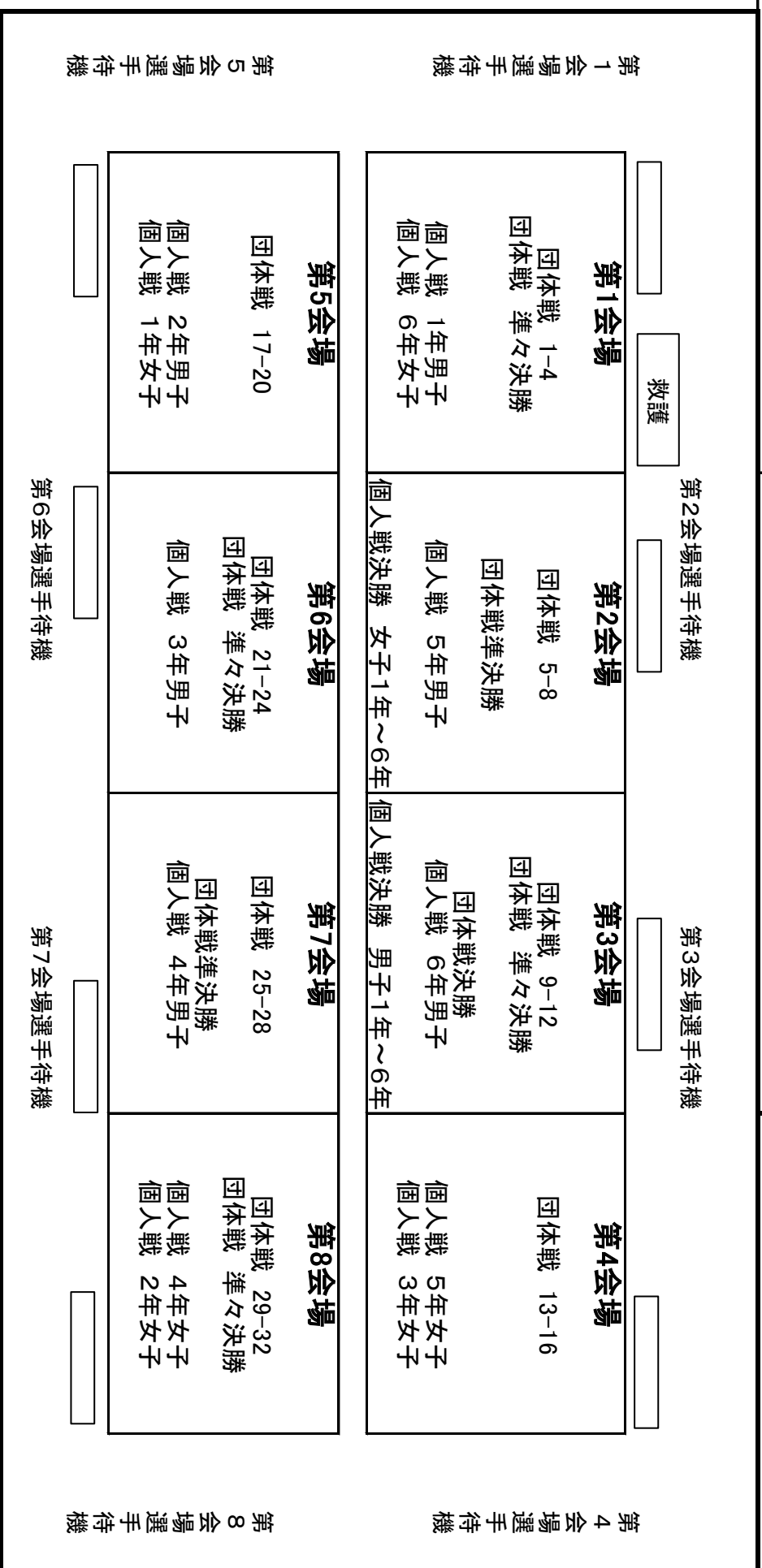
Fax0586-59-1137

E-mail: yutaka522@pony.ocn.ne.jp

試合会場割

正面舞台(本部)

試合会場(太線枠内)
試合会場には、選手、監督、運営スタッフのみ入場可能



個人戦
第1会場の試合が終了したら、第2会場の試合を流してください。第4会場の試合が終了したら、第3会場の試合を流してください。
第5会場の試合が終了したら第6会場の試合を流してください。第8会場の試合が終了したら、第7会場の試合を流してください。
選手の半分を移動するのではなく、基準の場所から2会場に試合を配置し、結果報告も基準の会場で受け付けてください。

観覧